

## 富士山静岡空港に係る環境監視計画の改正概要

## 1 生活環境項目（航空機騒音）

## 改正点

平成 29 年度から、短期測定地点に島田市南原地域（向山付近）を追加

（測定地点の一覧は下表のとおり）

## 改正理由・経緯

・空港東側において、吉田町（長源寺付近）では主に着陸時の、牧之原市（万代池付近）では主に離陸時の影響を受けるが、島田市南原地域では着陸及び離陸の両方の影響を受ける。

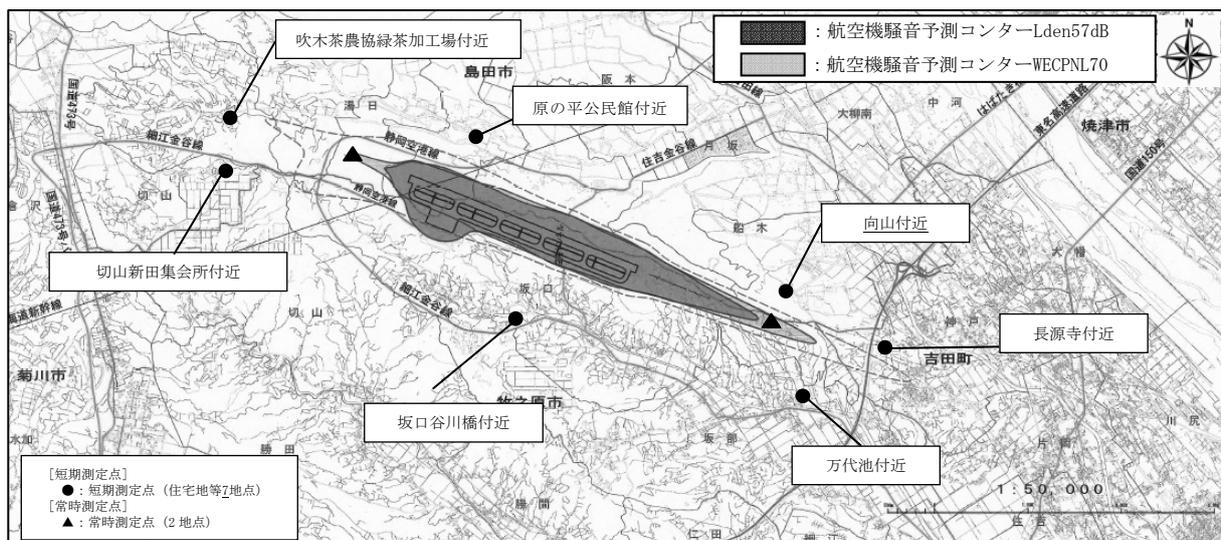
・南原地域は他の調査地点に比べて高台にあり、住宅も多く存在するため、平成 26 年度以降、臨時測定の要望が多く出されていた。

⇒ 南原地域における航空機騒音の影響を把握するため、平成 27 年～28 年度に補足調査を実施した結果、調査地点の中で 3 番目に高い値を観測したため、今後も継続的に調査を行う必要があると判断（調査結果は下表のとおり）

（参考）航空機騒音調査（短期測定）結果

測定地点	環境保全目標 Lden (dB)	平成 27 年度	平成 28 年度		
		年間	年間	夏季	冬季
①長源寺付近	57 以下	50.1	48.4	48.1	48.6
②万代池付近		51.1	50.9	51.5	50.1
③原の平公民館付近		42.8	39.8	38.3	40.9
④吹木茶農協緑茶加工場付近		46.5	43.9	38.4	46.3
⑤切山新田集会所付近		47.5	45.1	36.4	47.8
⑥坂口谷川橋付近		38.1	36.8	36.3	37.3
⑦向山付近		48.1	47.3	47.7	46.8

## &lt;調査位置図&gt;



航空機騒音の調査地点

## 2 自然環境項目

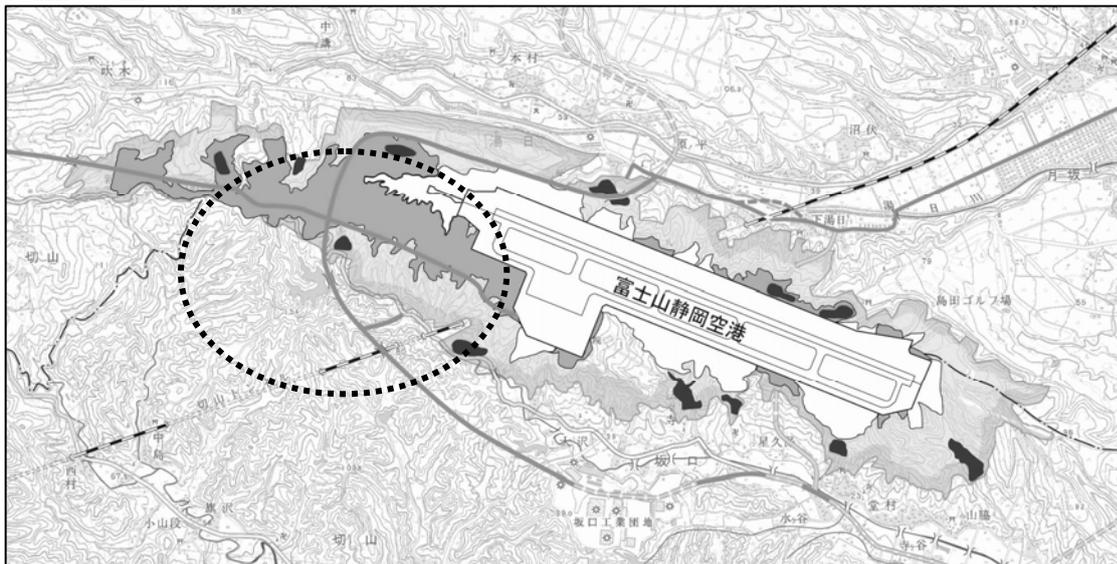
項目	オオタカ
改正点	平成 29・30 年度に空港周囲部 4,000ha において繁殖状況調査を実施
改正理由 及び経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>オオタカの調査は、平成 25 年度まで空港周囲部約 4,000ha で実施していたが、継続的な営巣が確認されたことなどから、平成 26 年度以降は県有地内に限定して実施してきた。</li> <li>環境監視会議から、オオタカの個体数と空港の開発や周辺の土地利用との関係性について、平成 25 年度との比較のために以前と同範囲で調査すべきとの提言があったため、計画最終年度に実施する。</li> </ul>

### 改正後の調査項目

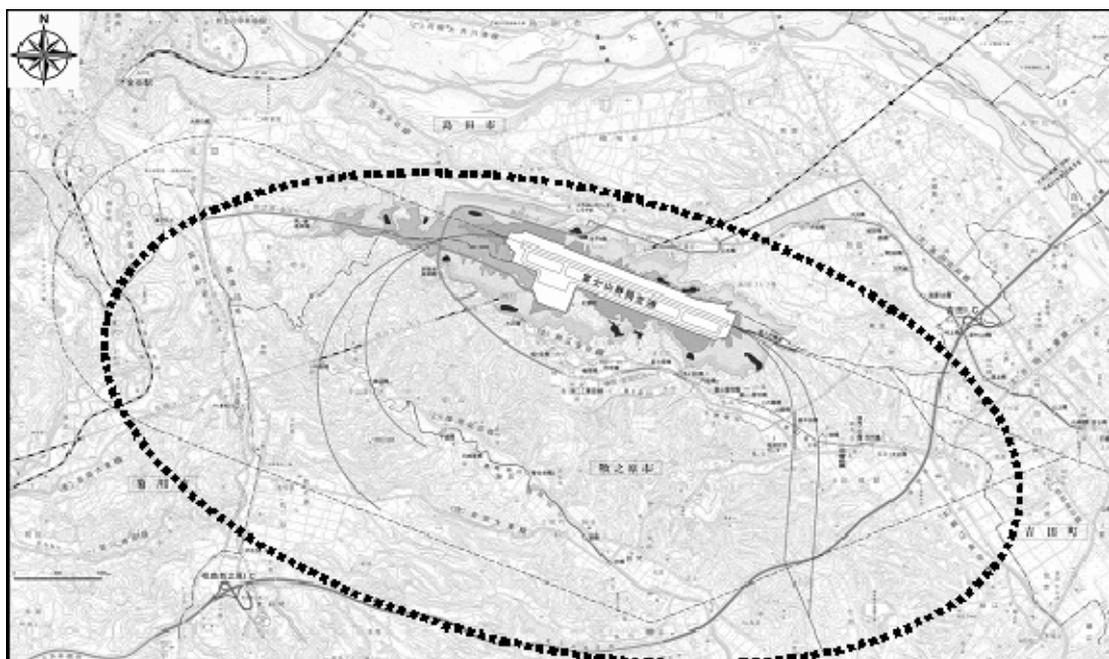
調査項目		H26	H27	H28	H29	H30
自然環境	植生復元地			○		○
	水辺環境の整備地		○		○	○
	フジタイゲキ			○		○
	オオタカ					
	(緩衝緑地帯)	○	○	○		
	(周囲部 4,000ha※)				○	○

※従前の調査範囲である緩衝緑地帯を含む。

### <調査位置図>



オオタカの調査範囲（～平成 28 年度：空港西側緩衝緑地帯）



オオタカの調査範囲（平成 29 年度～：空港周囲部約 4,000ha）